

めむろ議会だより

Memuro Town Assembly information



P2-3

高校生と議員の 意見交換会

テーマは
みんなが読みたくなる議会だより



P4-9 町政を問う 一般質問(12月定例会議)

P10 委員会報告、意見交換、議会白書

P12 議会モニターの声、研修レポート

高校生と議員の意見交換会

昨年12月、芽室高校と白樺学園高校の生徒と議会議員が意見交換会を行いました。

テーマは「みんなが読みたくなる議会だより」。

グループに分かれて意見を出し合うワークショップを行いました。

まちづくりの一員

選挙権が18歳に引き下げられたことで、より若い世代の声が反映できる世の中に変わりつつあります。

それとともに「市民権」住民としてまちづくりに参加する意識を持つてもらうことも必要で、今回も町内2高校の先生方の積極的な理解のもと実施しました。

まちづくり参加の第一歩として「議会だより」を、手にして、読んでもらうためのアイデアを出してもらいました。

議員の声 早苗豊 議員
なるほど！

「読まれるためには、これじゃ難しいですね」高校生たちの結論でした。それと同時に「ここをこうしたらいい」「こうすると読みたいくなる」「具体的な改善策も出していただき「なるほど」の連続でした。

いただいた意見は議会では検証・まとめをし、できることはやっていき、試行錯誤しながら「読まれる議会だより」に育てていきたいと思っています。



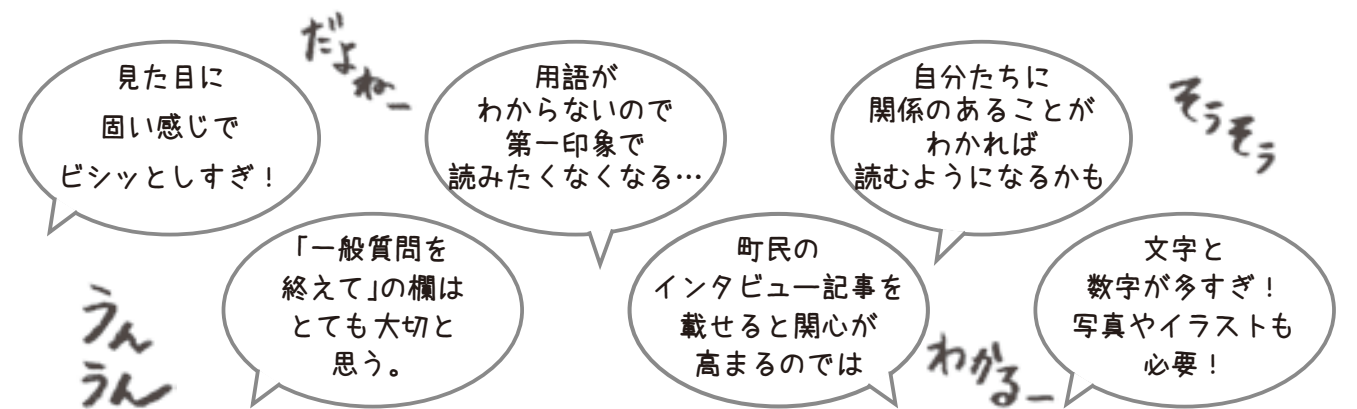
変わるか、議会だより

議会だよりの課題が見え、どうしたら読みやすくなるのかのヒントもいただきました。

今月号からイラストや手書き文字、写真の多用、写真の注釈、「一般質問を終えて」の枠を大きくしてみました。これからの議会だよりにご期待ください。

議員の声 中村和宏 議員
参加型の広報

私たちが気が付かない視点から多くの意見をもたらしました。高校生が記事を作ったりイラストを描いたりする「参加型」を求めている声も多かったです。自分たちが関わることで、興味・関心につながるということでした。確かにその通りだと思います。



白樺学園高校のみなさん



芽室高校のみなさん





吉田 敏郎 議員

有害鳥獣を駆除する猟友会会員の 後継者対策を

町長／担い手養成について地域での説明を
これからも重ねていきます。

【答弁】 有害鳥獣といえども、絶滅を求めるものではなく、被害額減少を目指した対策が重要と考えます。現在行っている有害鳥獣駆除員の配置、狩猟免許等取得助成、電気柵購入助成、残滓処理施設※の運営、関係機関との連携などを、体系的・総合性に推進することが最も効果的と考え、今後も引き続き検討していきます。

※残滓処理施設：駆除した有害鳥獣等を微生物により処理する施設。

【質問】 有害鳥獣の捕獲数（結果）から見るその成果を、どのような認識をお持ちか。

【答弁】 捕獲数をもつて成果をはかることはできませんが、被害額の減少は成果の一つと認識しています。

【質問】 有害鳥獣を減らす取り組みについて、どのように考えているか。

【質問】 有害鳥獣駆除事業を進めるうえでの課題は何か。

【答弁】 最大の課題は、ハンターの高齢化と担い手不足と考えます。今後の担い手確保・育成対策を猟友会とともに協議、検討していきます。

スマートフォンを活用して 行政課題の解決を

【質問】 ①本町の行政課題を解決するための道具としてのスマートフォンの活用状況は。

②行政課題を解決する策の一つとして、スマートフォンの活用の調査・検討状況は。

③行政課題を解決する策の一つとして、常に将来を見据え、更なる有効活用の方

法と情報を模索し、活用すべきと考えるか。

【答弁】 3つの質問を一括してお答えします。スマートフォンを活用例



イメージです

とした情報発信手段は、ホームページ、フェイスブック、めむろ安心メールが主なものであり、今後に向けてもICT関連機器を総合的に調査・研究し、有効かつ適正に活用できるツールを模索していきたいと考えています。



町内の自動撮映カメラに映ったエゾシカ

町の姿勢に、がっかり

せっかく他町に先駆けて設置した残滓処理施設の能力を最大限活用すべきです。

広域利用を近隣他町に呼びかけ、共同利用の可能性を追求すべきです。私の事前調査では、今の施設規模で、鹿は現状の100頭から、最大で400頭ぐらいまでは十分受け入れ可能と考えます。

これに対し町の「規模拡大が必要」との見解は、真剣に内部で検討したとはとても思えない答弁でした。

実施に向け、この他の課題もあると思いますが、解決策はあるはずですが、一議員が町の方針とは異なる提案を議会で申し立てる場合、それなりの根拠があることをまったく考慮してない答弁で、がっかりしました。

一般質問を終えて
吉田 敏郎

五人の議員が 質問

12月定例会議で5人の議員が一般質問を行いました。
各議員が町政に対する課題や考えを質疑しました。
各議員の質問内容と、町などからの答弁をお伝えします。



P.5 吉田 敏郎 議員

- ①有害鳥獣駆除事業の推進について
- ②スマートフォンを活用した行政課題の解決について



P.6 渡辺洋一郎 議員

- ①スポーツをしやすいまちづくりについて
- ②障がい者を理由とする差別や偏見のないまちづくりについて



P.7 立川 美穂 議員

- ①子どもの声をまちづくりに生かす会議について
 - ②子どもセンターの中高生の利活用について
 - ③高校生のシチズンシップ※の取組みについて
- ※シチズンシップ…主権者としての意識



P.8 正村紀美子 議員

- ①農村地区における学生を移動困難者として対策を講じないのか



P.9 梅津 伸子 議員

- ①新たな人権擁護の課題 SOGI、LGBT※対策を
- ②教育現場における SOGI、LGBT 対策について
- ③法定外繰入れを継続し、国保税負担軽減を

※ SOGI(ソギ、ソジ) LGBT(エルジービーティー)は一般的に「性的指向」と「性自認」と訳されています。

一般質問は、議員個人が町の事務の執行状況や将来に対する考えなどを町長などに求め、町が住民のための適切な町政運営を進めているかをチェックするものです。
年4回開催される定例会（6月、9月、12月、3月）で一般質問することができます。



立川 美穂 議員

子どもの権利に関する条例で「町は子どもの意見を聴くために会議を開催する」と定めているが

町長／「一日教育委員会」「飛び出す教育委員会」
「中学生・高校生ワークショップ」などを開催しています。

【答弁】 自分たちの提案したことが、町が真剣に取り組むことで達成感につながっていると思います。それが自分たちの参加が守られているんだという理解、認識になり、これが大切なプロセスだと思っています。

【質問】 今後、芽室町でも子どもたちが主体的に町の課題について考え、行動し、それが実現できたというプロセスを実感させることが重要ではないか。

【答弁】 塾や部活動で多忙な子供が多い中、固定した会議体ではなく、広く子供たちの意見を聞く場とすることが、現在の子供たちの実情を考慮したものであると考え、定期的な会議を開催することは考えていません。

【質問】 近隣自治体では定期的に「子ども議会」を開催し、より多くの子どもたちからまちづくりに対する意見を聞くなど、子どもたちの社会参加意識を高めるためにも大きな成果を挙げていると考える。本町ではそのような定期的な会議を持つ考えがあるのか。

体育施設整備について、今後の方向性やビジョン、スケジュールについてどのように考えているのか

教育長／施設整備内容・時期等は、総合計画や財政計画等と整合性を図り、実行計画策定で明らかにします。



渡辺洋一郎 議員

【質問】 スポーツのしやすいまちづくりについて、住民意識調査の結果を、どのように分析し、どのように評価しているか。

【答弁】 今後も体育施設の適切な整備と維持管理に努め、町民がスポーツを通して心身ともに健康に過ごせる環境づくりを進めていくことが重要と認識しています。

【質問】 生涯スポーツの推進に向けた啓発、意識の醸成、きっかけづくり、方策についてどのように考えているか。

【答弁】 ハード面の環境整備とともにソフト面も重要であると考えており、体育関係団体が主催する大会等をはじめ、総合体育館等で実施している講座・教室の開催、チャレンジデーの取組み等を継続し、充実を図りたいと考えています。



【質問】 スポーツがしやすい施設整備、環境づくりについて、今後の整備の方向性、ビジョン、スケジュールをどう考えているのか。

【答弁】 利用者が安全に楽しくスポーツができるよう、各施設の現状に応じ、大規模改修など適切に判断し、実施したいと考えています。



老朽化が進むテニスコート

障がい者理由とする差別や偏見のないまちづくり

【質問】 障害者差別解消法は本町において今後どのように住民周知を継続し、「障がい」への理解を深めていく考えか。

【答弁】 今後も広報誌の活用を主に、不当な差別的取扱い、合理的配慮の具体的事例を連載するとともに、「ふれあい交流まつり」等において、法律の趣旨等を記載したチラシを配布し、理解を深めていきます。

【質問】 周知にあたっての具体的な取り組みの考え方・方法は。

【答弁】 現在策定中の第5期障がい者福祉計画の中で、当事者団体や家族会、福祉事業所や一般企業等を対象に、個別に法律の趣旨や具体的事例、取り組みの情報提供を行うとともに、障害者差別解消法に関する講演会を計画します。

子どもセンター 中高生の利活用



【質問】 子どもセンターは今後、中高生にとつての安全安心な放課後の居場所や、子どもたちの地域社会における活動の場として、活用方法を再検討すべきと考えるが。

【答弁】 中・高生の子どもセンターの利用は、各自の自主性に委ねながらも、健康や情操など様々な困り事にすぐに対応できる能力を高めながら、運営をしていきたいと考えています。

高校生への シチズンシップ取組み

【質問】 本町において高校生のシチズンシップは、どの課が担うべきと考えているか。

【答弁】 シチズンシップ教育は、教育課程に基づいて編成・実施されるものですので、教育基本法及び学校教育法の趣旨からも、学校設置者が持つ権限であり、町行政に担うべき課は存在していません。

【質問】 他自治体では「シチズンシップ（主権者意識）」を育むのは、学校だけではなく「地域の教育力」が大切

という考えのもと行政や議会、青年会議所など多様な主体が高校生と地域をつなぐための先進的な活動に取り組んでいる。地方創生の観点からも今後は町が主体となつて高校生のシチズンシップへの取組みの検討を始めるべき時期と考えるが。

【答弁】 子供はやっばり誰が育てるかということになると、家庭であり、学校であり、社会であると。このことはいつまでたっても変わらない現実である、と考えています。

一般質問を終えて
渡辺洋一郎

共生する社会

平成28年7月、神奈川県立津久井やまゆり園で施設を利用する19人が命を奪われるという事件を記憶されている方も多いと思います。7年間、障がい者福祉施設に勤めていた私にとって本当に許しがたい事件でした。障がいの有る無しで特別視されることなく、お互いにひとりの人間として人格と個性を尊重しながら共生する社会づくりが求められています。

「共生する社会づくり」は、誰もが大切な命であり、共に育ち、生きていく仲間であるという実感や体験の積み重ねによってつくられるのではないのでしょうか。

そのためには差別のない姿勢や施策に行政が率先して取り組んでいくことが必要だと思いますので、引き続き注視していきたいと思っています。

一般質問を終えて
立川 美穂

次代の担い手を育てる

より多くの子どもたちが小さなころから自分たちが住む町の課題について関心を持ち、解決に向けて自分たちで考え、判断し、行動できるような仕組みづくりができるとよい、そのことが芽室の次代の担い手を育てることにつながるのではないかと、そんな想いで一般質問に臨みました。

三項目の質問では残念ながら「シチズンシップ」についての共通認識を図ることができず十分な議論ができなかった事が反省点です。

「シチズンシップは学校が行うもの」という固定概念を打ち砕き、高校生と地域をつなぐ活動を行ってきた先進地では既に素晴らしい成果を上げています。

まもなく平成の時代が終わります。私たちは次世代の担い手となる子どもたちをしっかりとしてバトンを渡せるのか、真剣に考えていかなければなりません。

※ SOGI(ソギ、ソジ) LGBT(エルジービーティー)は一般的に「性的指向」と「性自認」と訳されています。



梅津 伸子 議員

新たな人権擁護の課題 SOGI、LGBT※ 対策として 庁内関係機関の研修、協議が必要ではないか

町長／人権対策として障害者差別解消法の時に取組んだことをベースに徹底的に取り組んでいこうという考えでいます。

教育現場における SOGI、LGBT対策

質問 教育現場において、文部科学省通知等がどのように具体化されているのか。

答弁 通知等は各学校を通して全教職員に配布し、会議や研修で共通理解を図り適切な対応に努めています。

質問 教職員、保護者に対する啓発活動を実施すべきと考えるがどうか。

答弁 誰もが偏見や差別を受けず、地域で安心して暮らせるよう、人権教育や啓発活動において効果的な方法について検証します。



答弁 国や道の課題意識と連携した見直しを図る考えです。

質問 第5期芽室町総合計画での位置づけ、町男女共同基本計画の見直しが必要と考えるがどうか。

答弁 現時点で、職員研修や庁内関係機関会議は予定していませんが、今後の対応を検討します。

国保税の負担軽減を

質問 来年度から国保事業が都道府県単位となり広域化するが、本町の国保保険税の見直しはどうか。

答弁 北海道が示した試算から、来年度に本町の被保険者税額が大幅に増加することはないと考えますが、最終確定額は平成30年2月に通知予定で、その結果等を踏まえ保険税率を設定する考えです。

質問 法定外繰入れを継続し保険税引き下げを実現し、国保世帯の負担軽減を図るべきと考えるがどうか。

答弁 現在のところ、法定外繰入れを行う考えはありませんが、国保制度広域化による影響はまだ不透明なため、被保険者の負担等を考慮し、安定的な国保財政運営に努めます。



正村紀美子 議員

農村地区における今後の公共交通のあり方は

町長／農村地域住民の生活課題を広く把握して、今後の計画につなげていきます。

質問 農村地区の公共交通の課題を、まちづくりの観点から、どのように認識しているのか。

答弁 農村地区の公共交通課題で優先して解決すべきことは、高齢者を交通事故から守ること、高齢者の外出機会など生活の質を維持することと考えます。

質問 生活の質とはどのようなことを想定しているのか。

答弁 高齢者に、保健、医療、福祉のサービスが総合的に提供されることによって、地域社会で暮らしている環境を整えることと考えています。

質問 町は地域公共交通網形成計画の策定にあたり、農村地区の町民ニーズの把握や合意形成をどのように進めていくのか。

答弁 農村地域住民との対話の中で生活課題を把握し、地域全体の公共交通の



市街地で運行中のじゃがバス

あり方や、住民、行政、交通事業者の役割を定める「地域公共交通網形成計画」策定を平成30年中に検討します。

質問 地域が主体的になつて公共交通を考えていく姿勢が必要であると考えますが、

答弁 ニーズ調査は必要だと考えていますが、まずは町として何を選択するのかということ住民の方に示して合意形成を図っていくかなければなりません。

ような町民を想定しているのか。

答弁 農村地域の高校生の進学は、原則、通学できることを前提に進路選択をしていると判断しています。しかし、今後は移動困難があれば、学生も対象として検証しなければならぬと考えます。

質問 法令では、高齢者だけでなく、障がい者、学生、妊婦等も移動困難者としているが、今後対象者を拡大していく考えはあるのか。

答弁 交通困難者という視点はこれまでなかったのですが、今後は当然考えていかななくてはなりません。

質問 対象者を拡大していく上で自治体の裁量をどのように考えるのか。

答弁 対象者を誰とするのかは、平成30年度に策定を検討する計画の中でしっかりと議論をしていきます。

一般質問を終えて
正村紀美子



「交通弱者」を明確に

日常生活には移動手段が欠かせません。「交通弱者」は移動困難や移動に不便を抱える人たち、交通事故に遭うリスクの高い人たちのことです。交通に関する施策の基本理念となる「交通政策基本法」では、交通手段の確保が必要な対象者は高齢者や障がい者、そして学生や妊婦等となっています。農村地域の公共交通のあり方を考えていくためにも「交通弱者」の対象者を明確にし、全町の公共交通政策の方針を示すべきです。

また「生活の質」の維持は高齢者だけに限ることではありません。必要ならば対象者となる政策の見直しも検討する必要があります。今回の質問では「学生」を対象者の拡大をしましたが、今後は「移動に困難を抱える人」に対象範囲を広げ、生活がより豊かになるよう町に求めていきます。

一般質問を終えて
梅津 伸子



一人ひとりの思いに 応える町政に

憲法11条はすべての国民に基本的人権を保障しています。そして12条でそのための国民の不断の努力を求めています。今、自分らしく生きるために性的マイノリティであることを告知し、社会の理解をひろげ法整備を求める取組みが広がりに始めている。各自治体でも具体的な取組みが始まっています。

民間企業による全国調査結果に照らして町内でも1400人の存在が推計されます。性的マイノリティはカミングアウトが特に困難だと言われています。生きづらさを抱えているかもしれない一人ひとりの思いに応える町政となるよう第5期総合計画をはじめ各計画に新たな人権擁護の課題としてSOGI、LGBT対応が盛り込まれるよう注視していきたいと思えます。



若い人たちに
どう参加してもらうか

1月15日、議会モニターを経験された方との意見交換会を初めて開催しました。

議会モニターは平成24年から始まり、これまでに30人以上の方に経験していただきました。

意見交換会では次のような声をいただきました。

（いただいた声）

■若い人たちにどう参加してもらうかが課題だと思う。

■モニターをやめると、どうしても関心が薄れていく。どうつないでいくか。



地域公共交通は
民間業者への働きかけをしては

1月23日、15人の議会モニターさんに参加いただき、2回目のモニター会議を開催しました。

意見交換会では次のような声をいただきました。

（いただいた声）

■メムロスキー場は、もっと工夫ができるのでは。他の自治体運営の頑張っているスキー場を参考にするといい。

■農村の地域公共交通は、民間事業者への働きかけや提案、町からの協議などもっと進めてみては。

議会白書 平成30年1月分 延べ16時間44分活動しました！

会 議 名			日 時 会議時間	休憩 時間	実質 時間	議 件	傍聴 人数	ネット中継 アクセス数
常 任 委 員 会	厚生 文教	第24回	1月18日 9:30~10:51	0:11	1:10	・平成30年度開始予定の新規事業について ・平成30年度事業(変更)について他	2	86
		第25回	1月25日 9:30~11:28	0:15	1:43	・平成30年度開始予定の新規事業について ・第5期芽室町障がい者福祉計画及び第1期芽室町障がい児福祉計画の策定について 他	3	11
	総務 経済	第28回	1月16日 13:30~14:28	0:09	0:49	・平成28年台風10号等による被災企業復興支援について ・12月定例会議の振返りについて	2	(6)
		第29回	1月23日 13:30~16:56	1:05	2:21	・町税等の滞納に対する特別措置に関する条例の一部改正について ・平成29年度抽出事業について	0	114
		第30回	1月31日 9:30~11:50	0:20	2:00	・平成29年度抽出事業について	0	5
議 会 運 営 委 員 会		第21回	1月17日 13:30~14:22	0:00	0:52	・未来フォーラムⅢについて ・高校生との意見交換について他	0	6
		第22回	1月30日 9:30~10:34	0:01	1:03	・平成29年芽室町議会定例会2月定例会議の運営について ・未来フォーラムⅢについて 他	0	(88)
役 場 庁 舎 建 設 に 関 す る 調 査 特 別 委 員 会		第5回	1月30日 14:00~15:47	0:20	1:27	・役場庁舎建設基本設計について	4	(88)
総務経済厚生文教常任委員会 合 同 委 員 会		第4回	1月16日 9:30~11:39	0:37	1:32	・第4期総合計画の評価について	0	(6)
		第5回	1月30日 13:30~13:37	0:00	0:07	・第4期総合計画の評価について	1	(88)
小 計			16:02	2:58	13:04		計12	平均49.8
議会モニター経験者との意見交換会			1月15日 19:00~20:30	0:00	1:30	・「今後のモニター制度のあり方とは」		
第2回議会モニターと町議会との意見交換会			1月23日 18:30~20:40	0:00	2:10	・議会モニターと議員との意見交換 ・モニターとの意見交換		
小 計			3:40	0:00	3:40			
合 計			19:42	2:58	16:44		計12	平均49.8

() 同一日に複数の会議が中継された場合は各会議の合計アクセス数を表示



委員の早苗です。

総務経済常任委員会

第28回 1月16日(火)
調査内容

①平成28年台風10号等による被災企業復興支援
②12月定例会議の振返り

主な調査概要

①について、昨年6月に制定された被災企業への支援に関する条例の執行状況について確認をした。

第29回 1月23日(火)
調査内容

①町税等の滞納に対する特別措置に関する条例の一部改正
②平成29年度抽出事業

主な調査概要

①について、現在の運用の実態を確認した。

第30回 1月31日(水)
審査内容

①平成29年度抽出事業
主な審査概要

前回は引き続き、平成29年度抽出事業について討論、まとめを行った。



委員の寺町です。

厚生文教常任委員会

第24回 1月18日(木)
調査内容

①平成30年度開始予定の新規事業(福祉人材確保対策事業、在宅医療・介護連携推進会議)

②平成30年度内容変更事業(奨学金の新入学生への入学前貸付等、就学援助費のうち新入学用品費の入学前支給)

③12月定例会議の振返り

主な調査概要

②の「奨学金の新入学生への入学前貸付」について、3月議会において条例改正を予定しているが、今後のパブリックコメント、対象者への周知、決定など、スケジュールが非常にタイトである。委員会では短期間で実施する理由、その期間内での実現の可能性などを確認した。今後も継続調査をする。



第25回 1月25日(木)
調査内容



①平成30年度開始予定の新規事業(農村地域保育所運営事業・農村地域保育所施設維持管理事業、病児保育利用助成事業、保育所遠距離送迎対策事業、子ども・子育て支援計画策定事業、妊婦健診助成の見直し、相談支援事業強化事業、みなみっ子児童館の開設)

②第5期芽室町障がい者福祉計画及び第1期芽室町障がい児福祉計画の策定

③第7期芽室町高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画の策定

主な調査概要

③について、介護保険料の試算額が11月22日の委員会調査では基準月額6,006円(現在5,610円)だったのが、34円上昇し、6,040円となる見込みとのこと。原因は介護報酬の変更等によるもの。3月の計画策定、条例改正に向け今後も継続調査をする。

総務経済・厚生文教合同委員会

第4回 1月16日(火)
第5回 1月30日(火)
調査内容

主な調査概要

①第4期総合計画の評価
総合計画の見直しを目前に、議会として現在の総合計画の評価をまとめた。今後、その結果を町に手渡す予定。

意見交換 農業委員と意見交換

新規就農対策も必要では

12月27日、芽室町農業委員会役員と総務経済常任委員が意見交換を行いました。

農村地域の公共交通や観光振興についてのご意見、また現在の芽室町農業の現状(賃貸借地が多い、新規就農者が少ない、農業法人化など)について知ることができました。



庁舎建設に関する調査特別委員会

第5回 1月30日(火)
調査内容

①役場庁舎建設基本設計

主な調査概要

庁舎建設の仕様書の概要と基本設計案の説明を受ける。今までの意見等を踏まえた計画となっている。

議会改革 第4回 諮問会議

1月22日、4回目の議会改革諮問会議を開催し、前回に引き続き「住民参加のあり方」についての答申に向け議論しました。



議論する諮問会議委員

議会モニターの声

声

いただいた「ご縁」



廣田 由美
モニター
(東めむろ第3)

議会モニター経験者との意見交換会を傍聴し「最初は構えて参加していたけれども、議会のことを知るだけでも良いと思うと楽になった。」という声に共感しました。また、モニターさんと議員さんの対話の積み重ねによって、モニター制度がより参加しやすくなってきたことがわかりました。

すまいる(町の広報紙)モニター記事で「議会モニター制度」を取材しましたが、取材しようと思ったのは、議会モニター経験を通じて事務局の皆さんや議員さんたちと知り合えて、身近になったからだと思います。モニターを終えた後も、経験者との会があったら参加し、せっかくだから「ご縁」をつないでいきたいと思います。

農村地域の公共交通 実現に向け検討願います



堀井 和宏
モニター
(高岩)

11月27日、総務経済常任委員会を傍聴しました。

議題は「地域公共交通確保対策事業」で、PTAとの対話でもいろいろとお聞きしましたが、高齢者の免許返納による農村地域の交通手段の問題、管外、管内の事例を説明されましたが、芽室町に合う事例がなく、タクシード補助だと芽室町に合うタクシード業態がなく、事業の継続が困難になると思います。国と道の補助があるにしても、すぐに解決は難しいと思います。継続で検討していただけるみたいですので、今後とも、いろいろな自治体の事例をもとに、実現に向けていただけるようよろしくお願いします。

介護保険制度 将来に不安



堀切佳寿子
モニター
(弥生北町)

9月20日の本会議録画を視聴しました。

介護保険制度については私の親も高齢になり身近な問題であり、誰もが避けては通れない重要な問題で、特に関心があります。質疑の中から、国の介護保険制度が、費用・サービスとともに後退していること、

その中でも芽室町は頑張っている部分があることが見て取れました。

ただ、介護保険事業の総合事業と、地域包括ケアシステムについては内容を聞けば聞くほど将来に不安を感じています。

「地域の自助共助」や「ボランティアの活動」を隠れ蓑に、介護保険サービスを後退させることのないように、今後も議員の皆さんには住民の立場に立った議会活動をしていただきたいと思っています。

研修 レポート



芽室町・芽室町議会共催 公共事業の新たな整備手法

12月26日、高野伸栄氏(北海道大学公共政策大学院長)を講師に迎え、公共事業について講演をいただきました。

今までの公共事業の課題(事業のスピード感、設計と建設の調整力など)を解決するため、民間の力と能力を使った新たな手法は全国で事例も増えているとのことで、今後の役場庁舎や体育施設の建設にしっかりと検討する必要があります。

編集 後記

■久しぶりに小学生スケート大会を観戦しました。子供に声援を送る親、好タイムを出すため氷を蹴り続ける選手たち。改めて、スポーツの素晴らしさと親子の絆を感じた時間でした。



梶澤 幸治

■高校生から素晴らしいアイデアをいただきました。高校生の発想を大切に、これからも読みたいくなる「議会だより」を目指します。「変わったね」そんな高校生の声を聞きたいですね。



中村 和宏

■毎週、町民の方が集う行事が開催され、多くの町民の方々が活躍している様子を拝見しています。前向きな気持ちで取り組んでいる方が多く、大変励みになっています。



正村紀美子

LINE@

友だちになってね!!
@memuro-gikai2014



芽室町議会の概要を紹介
スマートフォンサイト

▶ スマートフォンサイトを見る



公式 Twitter アカウント
@memuro_gikai



公式 facebook ページ
http://www.facebook.com/memuro.gikai